



南国時報

第74号

昭和41年3月1日

編集発行
南国市広報委員会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川比印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)



春は真近に

—長岡にて—

ことしを
としを
土に祈る

早春の

夕陽に鋤を

肩に野へ (耕牛)

春は、身近に感ぜられてきました。いままで冬眠していた稲作農家も、ぼつぼつ田仕事の準備に入っています。

きよ年の冷害による二期作の痛手も忘れて、これからの米作りに希望を託して、農家はことしの幸せを土に祈っています。

まず、自分の体をつくり、土を育てよう。

平和憲法でも権利と義務について規定されている。▼一つ人権の問題を取り上げても、自分の人権を主張する権利と、他人の人権を守る義務が同居している。親子の扶養の問題にしても、家を主体としての民法が、人を主体とした民法に変わったからといって、それぞれは変ってはいない。親は子を扶養を扶養することは絶対的な相互関係がある。▼ところが、親は親子は子の立場を主張し扶養の権利と義務を守ろうとしないものが多い。親が生活保護者であり、息子はシャンとした生活を営んでいるという考えられない関係が相当に多くみられる。生活保護にしようという方法で金品の扶助をひき取るような人たちがいるのは、なげかわしい世の中になった。



このごろの風潮として相対的であるべき権利と義務の問題が、それぞれ別個なものになっているように思われてならない。

2月の人口

＝1月の異動＝

出生	25	死亡	42
転入	441	転出	285
1月末の人口	42,498		
世帯数	11,384		
1月末	11,384		